

食の世界遺産認定 堂上蜂屋柿「味の箱舟」に乗る



市特産の堂上蜂屋柿が、スローフード協会国際本部(イタリア)が進める「味の箱舟」プロジェクトの食品として認定されました。

「味の箱舟」

「味の箱舟」とは、「食の世界遺産」ともいわれ、大量生産される画一的な加工食品の大洪水から、世界各地に残る伝統食品を世界共通のガイドラインで認定することで救おうとする計画です。

認定条件は、おいしさや歴史、地域とのかかわり、限られた生産者による少量生産であることなど厳しく、日本からは、平成17年に「八列とうもろこし」(北海道)など9品目が登録され、今回は2回目、11品目申請した中で、4月10日現在、蜂屋柿を含む6品目が認定されました。

「味の箱舟」に関するこれまでの経過

- | | |
|----------|---|
| 平成17年11月 | 日本の伝統食材9品目が初めてスローフード協会国際本部(イタリア)の「味の箱舟」計画に認定される(現在世界で577品目) |
| 平成18年2月 | 「味の箱舟」に関する調査項目に対する回答書をスローフードジャパン「味の箱舟」事務局へ送付(「味の箱舟」への申請) |
| 6月 | スローフード協会現地視察(国際本部アルカ事務局、スローフードジャパン「味の箱舟」担当の2人) |
| 10月 | テッラ・マードレ2006(イタリア)に参加(会期26~30日:堂上蜂屋柿振興会から名誉会長と会長、市長の3人が参加) |
| 11月 | 日本からの「味の箱舟」候補が38品目から11品目に絞られる |
| 12月 | スローフード協会現地視察(国際本部日本担当、スローフードジャパン「味の箱舟」事務局長の2人) |
| 平成19年4月 | 「味の箱舟」計画に堂上蜂屋柿が認定 |

今回の認定については、大変光栄で喜ばしいことと思います。これは、自分たちだけでなく、先人の皆さんの努力のたまもであります。今後は、より一層気を引き締めて安心安全な製品づくりに取り組みたいと思います。

堂上蜂屋柿振興会会長 堀部庫市

